

②研究計画調書の主な変更点について（1）

○「研究費の応募・受入等の状況・エフォート」欄に、「所属研究機関の特定の目的(ミッション)に沿って行われるプロジェクト研究に参加している場合に、配分される研究費についても記入」する旨を追加しました。（「新学術領域研究」「特別推進研究」「基盤研究(S)」対象）

【基盤研究（S）の例】

研究代表者・研究分担者毎の研究者調書に作成・添付

基盤 S-15

研究者氏名										
研究費の応募・受入等の状況・エフォート										
本欄は、合議審査において、「研究資金の不合理な重複や過度の集中にならず、研究課題が十分に遂行し得るかどうか」を判断する際に参照するところですので、本人が受け入れ自ら使用する研究費を正しく記載していただく必要があります。										
本応募課題の研究代表者又は研究分担者の応募時点における、（1）応募中の研究費、（2）受入予定の研究費、（3）その他の活動、について、次の点に留意し記入してください。なお、複数の研究費を記入する場合は、線を引いて区別して記入してください。具体的な記載方法等については、研究計画調書作成・記入要領を確認してください。										
① 「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を 100%とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率(%)を記入してください。	② 「応募中の研究費」欄の先頭には、本応募研究課題を記入してください。	③ 科研費の「新学術領域研究（研究領域提案型）」にあっては、「計画研究」、「公募研究」の別を記入してください。	④ 所属研究機関内で競争的に配分される研究費についても記入してください。	⑤ 所属研究機関の特定の目的(ミッション)に沿って行われるプロジェクト研究に参加している場合に、配分される研究費についても記入してください。なお、個人へ配分される研究費が明確でない場合は、その旨を「研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由」欄に記入してください。						
(1) 応募中の研究費										
資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）	研究課題名（研究代表者氏名）	役割（代表・分担の別）	平成25年度の研究経費（期間全体の額）（千円）	エフォート(%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 (科研費の研究代表者(又は拠点リーダー等)のようにプログラム全体の研究費の受入研究者)の場合は、研究期間全体(又はプログラム全体)の受入額を記入すること)					

②研究計画調書の主な変更点について（2）

- 「研究計画・方法」欄において、「研究期間の途中で研究環境が大きく変わる場合は、研究実施場所の確保や研究実施方法等について」も記述することとしました。

【基盤研究（C）の例】

基盤C（一般）－3

研究計画・方法

本欄には、研究目的を達成するための具体的な研究計画・方法について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、平成25年度の計画と平成26年度以降の計画に分けて、適宜文献を引用しつつ、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。ここでは、研究が当初計画どおりに進まない時の対応など、多方面からの検討状況について述べるとともに、研究計画を遂行するための研究体制について、研究分担者とともにを行う研究計画である場合は、研究代表者、研究分担者の具体的な役割（図表を用いる等）、学術的観点からの研究組織の必要性・妥当性及び研究目的との関連性についても述べてください。

また、研究体制の全体像を明らかにするため、連携研究者及び研究協力者（海外共同研究者、科研費への応募資格を有しない企業の研究者、大学院生等（氏名、員数を記入することも可））の役割についても必要に応じて記述してください。

なお、研究期間の途中で研究環境が大きく変わった場合は、研究実施場所の確保や研究実施方法等についても記述してください。

研究計画・方法（概要）※ 研究目的を達成するための研究計画・方法について、簡潔にまとめて記述してください。

②研究計画調書の主な変更点について（3）

- 「研究業績」欄において、「発表年」欄と「研究代表者・研究分担者氏名」欄を統合するとともに「連携研究者」欄の見出しを削除しました。

【基盤研究（C）の例】

基盤C（一般）－6

研究業績

本欄には、研究代表者及び研究分担者が最近5カ年間に発表した論文、著書、産業財産権、招待講演のうち、本研究に関連する重要なものを選定し、現在から順に発表年次を過去にさかのぼり、発表年（暦年）毎に線を引いて区別（線は移動可）し、通し番号を付して記入してください。なお、学術誌へ投稿中の論文を記入する場合は、掲載が決定しているものに限ります。

また、必要に応じて、連携研究者の研究業績についても記入することができます。記入する場合には、二重線を引いて区別（二重線は移動可）し、研究者毎に、現在から順に発表年次を過去にさかのぼり記入してください（発表年毎に線を引く必要はありません。）。

発表年	発表論文名・著書名 等 (例えば発表論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）について記入してください。) (以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えるても可。 <u>著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略</u> （省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入）しても可。 <u>なお、研究代表者には二重下線、研究分担者には一重下線、連携研究者には点線の下線を付してください。</u>)
2012 以降	= =
	= =